

令和7年度第2回 城南市民センター運営審議会議事録

日 時 令和8年3月18日(水) 10時30分～12時00分
場 所 福岡市立城南市民センター 3階 第1・第2会議室
委 員 【出席】6名 【欠席】2名
事務局 城南市民センター館長 外3名
指定管理者 6名

傍 聴 人 なし

○ 次 第

- 1 開 会
- 2 事務局あいさつ
- 3 委員の交代について
- 4 議 事
 - (1) 協議・報告事項
 - ① 令和7年度 市民センター利用状況について
 - ② 令和7年度指定管理者事業について
 - ③ 令和8年度指定管理者事業実施計画について
 - (2) その他
- 5 閉 会

○ 議事録

(議 事)

協議・報告事項

- ① 令和7年度 市民センター利用状況について
- ② 令和7年度指定管理者事業について
- ③ 令和8年度指定管理者事業実施計画について

指定管理者から説明・報告を行った。

①及び②についての意見・質問

(委員) 事業や会議室、ホールなど、計画どおりうまくいった、うまくいかなかったなどあれば教えてほしい。

(指定管理者)令和 7 年度利用者目標を5万3千人、コロナ前の8%増と設定していたが、これを大きく上回る見込みである。

(事務局)どの市民センターも音楽室は利用率が高い。比較すると、和室は、一定のニーズはあるものの、利用率が低い。視聴覚室の利用率はかなり高い。

(指定管理者)視聴覚室は、令和7年度から一般の方を対象にした生涯学習室として使用していることにより利用率が上がった。

(委員)令和8年6月から、公民館は毎月月末が休館日になったが、市民センターはどうか。

(事務局)休館日は最終月曜日と年末年始で変更ない。職員はシフト制である。

(委員)定員に対して実際の参加者が少ない事業がある。参加者を多くするためにどのような取り組みをしているか。

(指定管理者)事業についてはアンケート結果からも高い評価を得ているが、参加者数については反省点も多い。周知方法は基本的に市政日より、Web、お出かけ系のサイトへの登録である。それ以外では、クラシックコンサートでは九響と一体になったPRを行った。子ども向け事業については類似のイベントでのチラシ館内配布を行っている。写真コンテストは応募が少ないため、今後は学校への声掛けなどを進めていきたい。

(事務局)7市民センターの施設規模は、ホールの大小はあるがそれ以外は概ね同じ。城南区は全市的に人口が少なく、城南区の利用者が中心である城南市民センターは少しハンディがあると思う。

(委員)議題1の資料について、数値はわかりやすいが、分析、課題まで記載いただくと議論しやすいのではないか。公民館も同じ悩みを抱えていて、公民館運営懇話会でもに出席した時に、人気の講座とそうでない講座がある、という悩みを話し合った。周知方法もさることながら、来て良かったなというクチコミ、LINEの友だちになってもらって発信していくなどの意見も出た。半面、アナログの部分もとても大事にしている。

(委員)事業について、開催する曜日の問題もあると思う。平日開催だと、行きたくても行けない。土曜の昼間、金曜日の夜など、曜日も関係してくるのかなと思う。

城南市民センターは地域にお住まいの利用者が中心で、7区でも地理的にハンディがあるという説明だったが、ほかの市民センターはもちろん、全国的にもうまくいっているところはたくさんあると思う。そういった事例をたくさん集めたら活性化するのではないか。

(事務局)せっかく委員の皆様には運営審議会に来ていただいているので、いろんな意見を言っていたきたいと思っており、試行錯誤にはなるが、資料作りを工夫していきたい。

(委員)人権啓発連絡委員としては、できるだけ全部の人権講座に行こうと努めている。(市民センターの事業ではないが)昨年12月の人権の集いは、ホールに50人ぐらいの聴衆だった。区にも直接苦言を呈した。オンライン配信するなど苦労されたと思うが。

(事務局)人権の講座は敷居が高いと、他区でも同じような状況。市民センターの人権講座も粘り強く取り組む必要があると思う。

(委員)「警固界限」を題材にした人権講座に出席した。大学生との意見交換はとても新鮮な学びだった。広報の手は尽くされていると思うが、出席は教育関係者、福祉関係者のみのようだった。私はともてらすの開設当初からボランティアで関わっている。最初は動員に苦戦していたが、今はチケットが買えないほどである。娯楽性、エンタメ性が高い催しがたくさんある。

(事務局)ともてらす早良はコミュニティ施設としての意味合いが強く、市民センターは社会教育施設という違いはあるが、実施していることは近い。ともてらす早良は新しい施設であり、エリアの特性もあると思う。

(委員)ともてらすに来るのは、ほとんど高齢者や近隣の人のようである。交通の便もよくないが、チケット販売が始まると売り切れてしまうので、イベント情報をチェックして、皆さん早め早めにお買おうとしている。特に落語は人気がある。

(事務局)勉強させていただきたい。

(委員)利用状況がコロナ前に戻ってきたという説明があったが、ようやくという気持ちである。足が遠のいた人がもう一度集う機運を作るということをセンターの皆さんが地道につないできたおかげだと思う。「警固界限」の人権講座は、企画は本当に良かったが参加者が少なかった。人尊協の皆さんは参加意欲が高く、平日昼間の方が来やすいという声も聞く。ただ、平日には来られない人もいるし、むずかしい。今年度の福岡大学企画の事業の参加者は少なかったが、社会にどれだけ響いたかという面も大事にしたい。カルチャーセンターになってはいけないと思う。

生涯学習講座の「ハイジの世界」はとてもよかった。上質な文化体験の土曜日を過ごした。開始前と、真ん中にミニレクチャーを挟む構成もよかった。ハイジの作者について、地政学的説明を挟みながら、文化、職業、意味がとてもよくわかった。単なる上映会ではない、ひとつのあり方かなと思った。意見だが、指定管理者が企画する中で、指定管理者も社会教育主事講習を受けていただくと、企画力がパワーアップするのではないかなと思う。つなぐ力、専門性を担保できる。

(事務局)社会教育主事の力をどう注ぎ込んでいくのかは、勉強させてほしい。

(委員)支えていく仕組みを検討いただきたい。

③ 意見・質問

(委員)同じ事業で令和7年度よりも定員を減らしているのはなぜか。実績から、現実的な人数を検討されたのか。

(指定管理者)傾向をもとに定員を設けている。もちろん1人でも多くの人に来てほしい。

(委員)できる限り参加して勉強したい。

(委員)市民センターが動員数を上げることを目指しているということを今日知った。私も様々なイベントに出席したい。

(委員)委員からも周りに声かけしていきましょう。

(委員)中学校のサポーター会議でも、PDCAとよく言われる。あまり人気のないものであれば、次の事業を実施する。紙トンボづくり教室がなくなったのもそういう視点かと感じた。

(指定管理者)紙トンボづくり教室は大変人気がある事業だが、コスト面で難しいこともあり、8年度は子ども向け映画にしてみようと考えた。まさにPDCAの考え方である。大胆に取り組んでいきたい。

(委員)学校を運営する立場として、必ず課題を改善する方法を考えており、新しいものを加えていくという考えのもと取り組んでいる。令和8年度の計画を見てそういう取り組みが感じられた。

(委員)毎回苦心されているのをひしひしと感じる。民生委員・児童委員の全国大会で札幌に行ってきたが、高校生のブラスバンドがすごい演奏会をした。城南区には吹奏楽でがんばっている中学が多いと聞く。いい意味で競争させるような取り組みがあってもいいのではないかなと思った。

(委員)企画は充実していると感じる。ホールを使つての企画はセンターならではのものだと思う。私も子育て中だが、親子企画の対象年齢が分からず、我が家に行っていないのか

と悩むことがある。チラシなどで「メインは何歳で、もちろんそれ以外も大丈夫」というメッセージが伝わればなお良いと思う。

以 上